

2020年2月19日

各位

一般社団法人ナレッジキャピタル
株式会社 KMO

**地球環境・AI・教育・農業など、世代を越えたアイデアの“真剣勝負”！
「第7回ナレッジイノベーションアワード」最終選考会を開催**
日時：3月20日(金・祝) 場所：ナレッジシアター

一般社団法人ナレッジキャピタル（代表理事：宮原 秀夫）、株式会社 KMO（代表取締役：小田島 秀俊）は、3月20日（金・祝）にナレッジキャピタル3大アワードのひとつ「第7回ナレッジイノベーションアワード」の入賞者による公開パフォーマンスと最終選考会を開催しますのでお知らせします。

「Knowledge Innovation Award」は、中学生・高校生が考える未来の仕事のアイデアや、ナレッジキャピタル参画者が生み出すユニークで新しい製品や活動を表彰し、広く社会に発信することを目的に開催しているアワードです。イノベーションという言葉から連想されやすい「技術」だけではなく、サービスやアイデアも対象にしています。



昨年度開催の様子



サウンドアーティスト Kyoka

7回目の開催となる今回は、ナレッジキャピタルの参画者を対象とした【ナレッジキャピタル部門】、中学生を対象に未来の仕事についてのアイデアを募る【中学生アイデア部門】【高校生アイデア部門】の3部門で募集を行いました。現代のニーズに合致する地球環境・AI・農業・教育など多岐に渡るアイデアが約5,800件集まりました。最終選考会では、入賞者21名が自らのアイデアをパフォーマンスで披露します。

また、世界を舞台に活躍するサウンドアーティスト kyoka による音の輪廓を感じることができる新感覚のサウンドパフォーマンスや、バーチャル認知科学者や昆虫学者、タレントやアーティストなど、「好き」を追究して各方面のトップランナーとなった5名によるスペシャルトークも開催します。

以上

<「第7回ナレッジイノベーションアワード」最終選考会概要>

日時：2020年3月20日（祝・金）午前11時30分～午後6時

会場：グランフロント大阪北館 4階「ナレッジシアター」

入場料：無料

参加方法：公式ウェブサイトより事前申し込み (<https://kc-i.jp/activity/award/innovation/2019/timetable/>)

主催：一般社団法人ナレッジキャピタル

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人ナレッジキャピタル 担当：稗方・財満 電話：06-6372-6427 / FAX：06-6359-2970

※ナレッジキャピタルは、2013年4月に民間企業主体により開業した「グランフロント大阪」の中核施設です。「感性」と「技術」を融合し、「新たな価値」を創出する世界初の「知的創造・交流の場」として、開発事業者の出資により一般社団法人ナレッジキャピタルと株式会社 KMO が共同運営しています。

1. 「ナレッジイノベーションアワード」アワード概要

革新的なプロダクトやアクティビティを、ナレッジキャピタルに参画する企業や研究機関・アーティストなどを対象に募集するほか、中学生・高校生のアイデアを表彰し、スポットを当てることで、広く社会に発信することを目的としたアワードです。7回目を迎える今回は、「中学生アイデア部門」「高校生アイデア部門」の両部門合計で5,717人、「ナレッジキャピタル部門」に95団体の応募がありました。最終選考会当日は、入賞者21名が壇上で公開パフォーマンスを行い、多彩な選考委員による審査を経て、各部門のグランプリ、ならびに各賞を発表・授与します。

2. 最終選考会概要

(1) プログラム

午前 11 時 30 分～	OPENING SHOW
午前 11 時 50 分～	中学生アイデア部門 公開パフォーマンス
午後 12 時 40 分～	高校生アイデア部門 公開パフォーマンス
午後 1 時 45 分～	ナレッジキャピタル部門 公開パフォーマンス
午後 2 時 55 分～	「好きを追求したら」スペシャルトーク
午後 4 時 20 分～	受賞結果発表
～午後 5 時 30 分	終了



(2) 詳細プログラム

① 中学生・高校生が対象の「未来の仕事」アイデア部門 公開パフォーマンス

テーマ：中学生部門 「未来の仕事を考える」
高校生部門 「未来の“私の”仕事を考える」

20年後の未来を担う中高生が、これからの未来の仕事はどうなっていくのか、をテーマにアイデアを競う部門です。エントリー用紙は3つのステップに沿って考えを進めていくことで、20年後の未来や仕事について考えをまとめていける構成です。最終選考では、アイデアに加えて、プレゼンテーション力も評価の対象となるため、創意工夫を凝らした多様なパフォーマンスをご覧ください。



昨年度の様子

② 「ナレッジキャピタル部門」公開パフォーマンス

ナレッジキャピタル参画者のイノベティブな活動を発表します。今年は、教育機関や研究所など各方面からの応募がありました。選考は、今までになかったアイデアであることはもちろん、デザイン性や社会的影響力、事業化なども評価の対象となります。



昨年度授賞式の様子

③ サウンドアーティスト Kyoka <OPENING SHOW>

世界的サウンドアーティスト kyoka が、音の輪郭を感じられる新感覚のサウンドパフォーマンスを行います。まるで音が空間の中で、波紋や正円に沿って立体的に流れているかのような音像を作り上げます。

〈プロフィール〉

実験・電子音楽レーベルの最高峰の一つ「raster」における、初の女性ソロアーティスト。ライブパフォーマンスは国内外問わず高い評価を受けており、フェス投票のベストアクトにたびたび選ばれている。Apple (世界)、ABC マート、ORBIS 化粧品ほか、企業 CM 音楽の制作も手がけている。



サウンドパフォーマンス

④「好きを追求したら」スペシャルトーク

5名のゲストが「好き」を迫及してその道のトップランナーとなった経緯などを話すトークセッションです。

〈ゲスト〉

- 芦沢 ムネト タレント、イラストレーター、癒し系キャラクター「フテネコ」の作者
- Kyoka サウンドアーティスト
- 小間 裕康 株式会社コマエンタープライズ 会長
- 佐久間 洋司 バーチャル認知科学者
- 矢澤 健二郎 信州大学 繊維学部 助教



3. 入賞者情報

①中学生部門

- | | | | |
|------------------|----|--------|----------------------|
| ・関西学院千里国際中等部 | 3年 | 宇高 結衣 | 「Plastic Hunt Racer」 |
| ・帝塚山学院中学校 | 3年 | 黄 梦瑶 | 「サブブレン エンジンア」 |
| ・金蘭千里中学校 | 1年 | 正源司 陽子 | 「Wrap soft future」 |
| ・大阪市立咲くやこの花中学校 | 3年 | 中尾 颯汰 | 「人類保存装置開発グループ」 |
| ・京都橘中学校 | 2年 | 野々口 寿璃 | 「戦争を VR+感覚で体験！！」 |
| ・長崎県立諫早高等学校附属中学校 | 3年 | 林下 俐子 | 「『海洋浄化魚』製造員」 |
| ・高槻中学校 | 3年 | 柳田 佳菜 | 「職業交換～Job Exchange～」 |

②高校生部門

- | | | | |
|--------------|----|--------|---------------------|
| ・親和女子高等学校 | 1年 | 安藝 倫実 | 「”センスデンジャーパッチ”製作者」 |
| ・甲陽学院高等学校 | 1年 | 五熊 健 | 「雲捕獲マシン開発者」 |
| ・島根県立隠岐高等学校 | 1年 | 稲葉 陽和 | 「コントロール治療」 |
| ・西大和学園高等学校 | 1年 | 坂口 来輝 | 「想像したことを目の前に映し出す仕事」 |
| ・滝川高等学校 | 3年 | 田中 義将 | 「クモ AI で人生歩くねん！！」 |
| ・東京都立富士森高等学校 | 3年 | 吉川 みず希 | 「若い政治家」 |
| ・清教学園高等学校 | 2年 | 余田 朝香 | 「マテリアルコーディネーター」 |

③ナレッジキャピタル部門

- ・「巨大物体の謎を解く、ミュオグラフィアートで表現」 関西大学ミュオグラフィアートプロジェクト
- ・「土石流の真実を伝える映像とモデル実験<林 慶一教授 (理工学部)>」 甲南大学
- ・「Sonic Taste」 東京大学廣瀬・葛岡・鳴海研究室+ Felipe Reinoso Carvalho
- ・「アジア太平洋研究所『都市における IoT の活用』研究会スマートシティ実証実験」 一般財団法人アジア太平洋研究所・西日本電信電話株式会社・日本電気株式会社
- ・「農作業を通じた健康増進サービス『フィットネス農場』」 株式会社エーエスピー
- ・「伴大納言絵巻 AR プロジェクト」 Unity 研究サロン
- ・「現実の『色』をマトにしたシューティングガン COLOR BLASTER」 Team COLOR BLASTER (筑波大学)

4.選考委員

【選考委員長】

河川 洋一郎 東京大学 名誉教授／アーティスト／一般財団法人デジタルコンテンツ協会 会長

【選考委員】 ※敬称略・順不同

村上 憲郎 村上憲郎事務所 代表／元 Google 日本法人 名誉会長

遠藤 諭 株式会社角川アスキー総合研究所 主席研究員

塩瀬 隆之 京都大学総合博物館 准教授／デザイン学ユニット／学術研究支援室 参与

伊藤 恵理 東京大学大学院 工学系研究科 准教授

安田 洋祐 経済学者／大阪大学大学院 経済学研究科 准教授

清水 陽子 クリエイティブディレクター／アーティスト／サイエンティスト

【特別選考委員】 ※ナレッジキャピタル部門のみ

米村 猛 経済産業省 近畿経済産業局長

【施設概要】

施設名	ナレッジキャピタル	
所在地	〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館	
	The Lab. みんなで世界一研究所 (アクティブラボ・カフェラボ・イベントラボ)	地下1階～3階
	フューチャーライフショールーム	1階～6階
	ナレッジシアター	4階
	ナレッジサロン	7階
	コラボオフィス・コラボオフィスネクス	7階～8階
	カンファレンスルーム	8階・10階
	ナレッジオフィス	7階～13階
	コンベンションセンター	地下1階～地下2階
運営組織 代表者	一般社団法人ナレッジキャピタル 株式会社 KMO	代表理事 宮原 秀夫 代表取締役 小田島 秀俊
事業者 (五十音順)	NTT 都市開発株式会社 株式会社大林組 オリックス不動産株式会社 関電不動産開発株式会社 ジャパンエクセレント投資法人 積水ハウス株式会社 株式会社竹中工務店 東京建物株式会社 日鉄興和不動産株式会社 日本土地建物株式会社 阪急電鉄株式会社 阪急阪神リート投資法人 三菱地所株式会社	